

「じびか歳時記コロナワクチン号 VOI39」

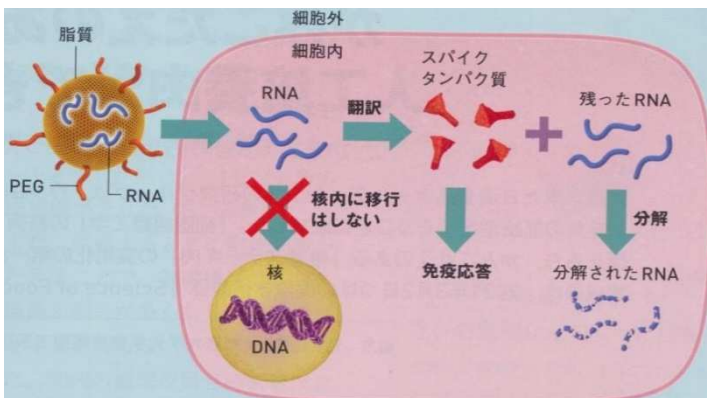
—mRNA ワクチンとは—

当院の職員は、新型コロナウイルスのワクチン（ファイザー製薬「コミナティー」）の2回接種を5月12日に終了しました。それぞれ接種後の反応が異なり、どういう症状が出たか記述してもらいました。また、小生もワクチンについて簡単なコメントを以下に記しました。これからワクチン接種される方（もちろん正しい知識を得たい人にも）の参考になれば幸甚に存じます。

免疫とは、簡単に言うと外敵から身を守るシステムです。外敵とは、寄生虫、細菌、ウィルスなどであり、それらを迎え撃つシステムには自然免疫と獲得免疫があります。例えば、ワクチン接種がなかったころ、初めて「はしか」にかかれば、その人の持って生まれた本来の免疫システムで「はしか」ウィルスを退治します。それが自然免疫です。一方、一旦「はしか」にかかった人は、「はしか」の抗体が作られ、抗体がある程度残っている間は「はしか」にはかかりません。この防御システムを獲得免疫といいます。

自然免疫では相手を攻撃するのに時間がかかり、免疫力の弱い乳幼児が罹患すると、死亡の確立も高くなります。そこで、病原体を薄めたり、薬を使用したりして、弱毒化したものをあらかじめ体内に接種し、獲得免疫を作っておけば、予防や罹患しても軽くて済むということで、ワクチンが開発されてきました。

そして、今回新型コロナワクチンが承認されましたが、「核酸ワクチン」という新しい概念のワクチンです。これは、新型コロナウイルスの遺伝子情報から、ウィルス表面のスパイクタンパク質を作り出す指示書にあたる mRNA（メッセンジャーリボ核酸）を取り出し、それを人間の体内に接種する方法です。するとどうなるか、われわれの体内で mRNA の情報を読み取り、ウィルスのスパイク蛋白質が合成されます。それに対して免疫応答がなされ、抗体が形成され獲得免疫の完成です。残った mRNA は速やかに分解され、また核内に取り込まれることもないため、DNA の遺伝情報が書き換えられこともなく安全性は確かめられています。分かりやすいイラストを以下に挙げます。雑誌「Newton2021年6月号」から引用しました。



でも、本当に完全に安全か不安が残ります。我々の体を遺伝子操作するのですから、小児に対する安全性、子孫への影響などまだまだ検証していかなければならない問題があるのではないでしょうか。今後の課題だと思います。

mRNA ワクチンを受ければほぼ全員に抗体ができますので、今回の新型コロナウイルスに対してはとても有効と思います。正しい知識のもと、ワクチン接種を受けるか否かは各自が判断

して決めればよいと思います。

最後に一つだけメッセージを送ります。先日、日本耳鼻咽喉科総会・学術講演会が開催されました。「新型コロナウイルス感染症への対応」の特集があり、神戸市立医療センター中央市民病院救命救急センターの瀬尾龍太郎先生は「エビデンスを踏まえた COVID-19 治療戦略とワクチン動向」という講演で「新型コロナウイルス感染症で死亡された患者は全員ワクチン接種を行っていなかった。末期の患者を診るにつけワクチンを受けておれば命だけは助かっていたと思うと残念でならない」とコメントされていました。

コロナワクチンを受けての感想

・コロナワクチン接種前副作用心配したんですが、2回共接種部位の筋肉痛と2回目少し頭痛ぐらいでした。インフルエンザより痛みなかったです!(^^)! 接種して少しでも感染収束につながればいいですね。

・コロナワクチンを2回接種し、2回とも共通の副反応は接種部位の痛みでした。1日で痛みはなくなり、我慢できる範囲内でした。2回目接種した時は腰部不快感がありムカムカ、お腹が張る感じが1日ちょっとありました。その後はいつも通りにもどりました。

・2回接種しましたが、1回目は接種部位と同側の肩周辺の痛みがありました。2回目は、それに加えて、夜中2時頃から頭痛、ムカムカ、寒気と熱(最高38.5度)、倦怠感の症状が出始め、1日2日続きました。

・コロナワクチン接種1回目は次の日に接種部位の痛みがありました。痛みはその1日でだいたいは無くなりました。苦しかったのは3週間後の2回目接種です。打った直後は特に症状はなかったのですが、その日の夜中2時ごろから節々の痛みを感じ始め、朝には39℃近く熱が上がっていました。その日は1日中、熱が下がりませんでした。夕方に37℃台になり、次の日には元気に出勤できました♪
副作用がきつかったり、怖かったりしますが私はワクチンを打って良かったです。コロナ収束のためにみんなで頑張りましょう!

・先日コロナワクチン2回目を接種しました。1回目は接種部位の痛みだけで、翌日の夕方にはよくなりました。2回目は自分の予想以上の副反応で本当に同じワクチンなの!?と思うくらい体調不良になりました。夜中から何となく体がだるく、風邪のひき始めのような寒気がありました。翌朝、37.5度。お昼からガタガタ震えが止まらず39.6度まで上がり、倦怠感、全身の痛み、頭痛がありました。やっと朝には熱も下がり、仕事に行くことが出来ました。体の痛みは3~4日続きました。なかなか収束の兆しが見えない状況ではありますが、引き続き感染対策をしっかり行いながら、このワクチン接種が感染収束の1歩となるよう祈るばかりです!(^^)!

・ワクチン接種の前に睡眠不足が続き、1回目の接種の日、仕事も忙しく夜に咽頭痛があり、眠れず、その後も咽頭痛続き、睡眠不足が続き三週間くらい体調不良でした。2回目の時は十分な睡眠が関係あるのか分かりませんが、次の日腕が筋肉痛、腰が少し痛いかな?ぐらいですみました。睡眠大事です。

・私は、コロナワクチンを受けていません。以前インフルエンザのワクチンで、何度か副反応が強くて、それ以来ワクチンは打っていません。それでもインフルエンザに罹患していません。ワクチンを受けないということ、医療従事者がそんなことでいいのか?と何度も悩み、今も自分の選択が正しいのかどうか分かりませんが、今回はコロナワクチンを接種せず、自己免疫を上げてウイルスをよせつけない!撃退する!という、強い信念のもと毎日頑張っています。

・コロナワクチン1回目の時は、次の日に腕が痛いなぁぐらいで、こんなもんか♪と思っていましたが、2日後から咳が酷くなり、夜は肺が痛くなるなどの症状が出て、咳の酷い風邪という感じで1週間以上は体調を崩してしまいました。なので2回目は怖くなり、接種をキャンセルしましたが、やはり医療従事者として2回接種した方が予防の効果が高いと思い、みんなより遅れて2回目の接種をしました。副作用は接種した15分後から胃のムカムカがあり、次の日には胃の痛み、37.5度の熱。思ったより熱は上がりませんでした。全身倦怠感で1日中寝込んでしまいました。胃のムカムカは3日ぐらい続きましたが、次の日には普通に仕事が出来ました☆